

令和8年度 高岡市教育委員会重点施策

高岡市教育大綱（対象期間：令和2年度～令和8年度 ※2年間延長）を踏まえ、本市の未来を拓く人材の育成に資するため、令和8年度高岡市教育委員会重点施策を定め、各種教育施策を総合的に推進します。

高岡市教育大綱

基本理念

未来創造のひとづくり・ふるさとづくり

基本方針

基本方針1

子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境の整備充実

基本方針2

基礎基本の徹底と個性が輝く Society5.0 の未来を拓く学びの充実

基本方針3

絆を深め、ふるさと高岡に愛着と誇りを育む地域ぐるみの学びの推進

基本方針4

共に生き共に創る、地域に活力を生み出す人生100年時代の学びの推進

基本方針5

夢や希望を育み、健康を支えるライフステージに応じたスポーツの振興

基本方針6

文化創造都市高岡の優れた歴史・文化の保存・活用とさらなる創造

令和8年度 高岡市教育委員会重点施策

1 子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境の整備充実

① 創造性に満ちた学校経営の推進

- 各学校の教育目標の実現に向けて、創意工夫を生かした教育課程の編成と実施に努め、特色ある学校づくりを推進する。
- 日々の実践に基づいたOJTの推進等、研修の方法や形態を工夫し、教師一人ひとりの指導力を高め、信頼される学校づくりに努める。
- 若手教員、中堅教員、管理職等のキャリアステージにあった講座を開き、教員一人ひとりの資質能力を高める。
- 幼・保、小、中、高等学校の相互の連携を図り、児童生徒の連続した成長発達を見通した連携教育や一貫教育を推進する。
- 中学校区ごとに小中一貫教育推進のための組織を設け、目指す子供像を共有するとともに、小中一貫教育グランドデザインを策定し、9年間を見通した取組みや活動を実践する。
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入を通して、学校と地域が連携し、地域住民や保護者等が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することで、地域とともにある学校づくりを推進する。
- 教育総合支援センターや小学校長会、中学校長会、小学校教育研究会、中学校教育研究会、中学校体育連盟等の取組みを通して、各学校や教員の優れた実践を共有し、本市全体の教育向上につなげる。

主な事業	予算額（千円）
教育研究団体助成費	6,426
小中一貫教育推進事業費	1,537
学習指導費（教師力向上や今日的な教育課題等の研修会の開催）	551

② 将来の生き方を考える教育の充実

- 「高岡市子ども読書活動推進計画」を基本とし、児童生徒が読書や講演などを通して、先人の生き方に触れる機会を充実させ、自らの将来を考え、夢や希望を育む契機とする。
- 地域の様々な分野で活躍される人々と接する機会をより多く設け、働くことや社会の様子などを直に知ることができるよう努める。
- ボランティア活動や「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、様々な体験

活動を生かし、系統的なキャリア教育を推進する。

- 郷土の偉人である高峰譲吉博士の功績を広く市内外に知らせる顕彰事業に取り組む。
- 教育総合支援センターにおいて、児童生徒一人ひとりに応じた支援の充実を図るとともに、子どもたちの健やかな成長と自立を支える。

主な事業	予算額（千円）
ものづくり・デザイン科推進事業費	12,291
高峰譲吉博士顕彰事業費	698
論理コミュニケーション推進事業費	6,030
社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業費	4,487
小学校地域学習サポート事業費（地域人材の活用）	378
教育総合支援事業費	27,228

③ 教育効果を高める教育環境の整備

- 「今後10年を見据えた高岡市における小中学校の配置について」で再編の方針を示した校区において、再編統合の着実な進捗を図る。
- 高岡市教育将来構想検討会議を継続して設置し、教育の充実や教育環境の整備などに関する諸課題について、引き続き検討を進める。
- 高陵中学校区では、小中一貫校（施設一体型の小学校・中学校。以下同じ）において、体育館の増築工事に着手する。
- 高岡西部中学校区及び伏木中学校区では、小中一貫校の開校に向けて、校舎の増築及び改修工事を進める。
- 小学校35人学級に対応するため、野村小学校のエレベータ設置工事に着手する。
- 学校体育館等における安全・安心な活動を確保するとともに、災害時における避難所としての環境改善を図る為、4校の体育館への空調設置に係る実施設計を行う。
- プール授業の機会を確保するため、小中一貫校等において、天候等に左右されない民間施設等の屋内プールを活用したプール授業を行う。
- 安全で快適に学べる教育環境を確保するため、学校施設・設備の改修に取り組むとともに、更新時期を迎える施設の老朽化対策を計画的に進める。
- 経済的理由により就学困難な児童生徒等の保護者に対し、必要な援助を行い、適切な教育機会の確保に努める。
- 海外へ留学をする青少年に対し支援を行い、国際社会で活躍できる人材の育成に努める。

- 教育総合支援センターの第二段階の供用開始に向け、第2期工事（増築）に向けた実施設計を引き続き行う。

主な事業	予算額（千円）
高陵中学校区小中一貫校整備事業費	493,268
高岡西部中学校区小中一貫校整備事業費	1,405,478
伏木中学校区小中一貫校整備事業費	1,760,090
35人学級対応事業費	172,428
学校空調設備等整備事業	3,007
小学校管理運営費 （うち、民間施設等を活用したプール授業）	(16,301)
学校施設営繕費	163,842
就学援助費（学校給食費、医療費等）	34,859
就学援助費（学用品費、修学旅行費等）	71,028
奨学資金貸与事業費（大学生等への奨学金貸与）	11,900
荻布奨学金（高校生・高専生への奨学金支給）	1,248
海外留学支援奨学金給付事業費	2,500
教育総合支援センター整備事業費	9,265

2 基礎基本の徹底と個性が輝く Society5.0 の未来を拓く学びの充実

① 確かな学力をはぐくむ学習指導の充実

- 認知能力と非認知能力の一体的な育成を図り、自ら学び、考え、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を育む。
- 探究的な学びを推進し、変化が止まることのない時代を生きる子どもたちが、自ら課題を見つけ、多様な他者と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、課題を解決しようとする資質・能力の育成を目指す。
- 「論理コミュニケーション」の遠隔授業を実施し、物事を筋道立てて考え、文章として表現する論述力を育成する。
- 一人一台学習専用端末と高速大容量通信ネットワーク環境の下、汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- 中学校区でモデル校を設定し、国や県に先駆けて、質の高い高岡ならではの教育実践研究を進め、教育の充実と学びの深化を図る。
- 児童生徒の実態を把握し、家庭学習も含めた学習習慣等の定着を図り、学力向上に向けた取組みを推進する。

主な事業	予算額（千円）
少人数教育推進事業費（臨時的任用講師の配置）	26,434
特別支援活動事業費（スタディ・メイトの配置）	28,099
論理コミュニケーション推進事業費【再掲】	6,030
教職員研修事業費	1,889
理科実験準備等支援事業費（観察実験アシスタントの配置）	1,043
学習指導費（教師力向上や今日的な教育課題等の研修会の開催）【再掲】	551
探究的な学び推進事業費	1,513
研究指定校推進事業費	557
ICT活用推進事業費	900

② 健やかな体をはぐくむ教育の充実

- 基本的な生活習慣の確立を基盤に、学校における適切な体育、部活動等の充実を図り、健康でたくましい児童生徒の育成に努める。
- 部活動において生徒一人ひとりの興味・関心を高め、多様な能力を伸ばすため、各校の工夫を凝らした部活動運営に取り組む。
- 休日の部活動の地域展開を目指し、学校、家庭、地域、民間、各競技団体等が連携してスポーツ・文化芸術活動を支え、子どもたちの豊かで幅広い活動機会を保障する新たな部活動の高岡モデルを構築する。
- 子どもたちの安全・安心・健康を最優先とし、学校における感染症の拡大を防止するとともに、定期健康診断や小児生活習慣病予防健診等を実施し、疾病や生活習慣病の予防に努め、学校・家庭・関係機関と連携をとりながら、児童生徒の健やかな心身の育成を図る。
- 学校給食を通して、児童生徒に正しい食事の在り方や望ましい食習慣を学ばせるなど食育の推進を図るとともに、安全かつ安心な学校給食の提供に努める。
- 国による学校給食費の抜本的な負担軽減が実施されることに伴い、本市の小学校給食費月額との差額を市独自に上乗せ支援することで、保護者負担を完全に無償化し子育て世帯の経済的負担軽減を図る。
- 緊急を要する医療事故や火災、地震、不審者等に備えた訓練を実施するなど、防災・安全教育を推進する。

主な事業	予算額（千円）
学校給食運営管理費	169,238
学校給食指導費	424,751
児童・生徒健康診断費	30,332
保健管理指導費（学校環境衛生検査、AEDの更新等）	20,901

学校給食設備整備費	29,670
部活動育成費（スポーツエキスパート、部活動指導員の配置）	8,070
小児生活習慣病対策事業費（たかおかキッズ健診）	6,457
地域部活動推進事業費	2,869
就学时健康診断費	1,393

③ 豊かな心をはぐくむ教育の推進

- 自他の生命や人権を尊重し、自然との共生を大切にする教育を推進する。
- 温かい人間関係を基盤とし、自己存在感や自己有用感を高める教育の充実に努める。
- 児童生徒がよりよく生きるために自ら考え、判断できるよう、「特別の教科 道徳」の授業を要とし、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努める。
- 互いの違いやよさを認め、多様性を尊重する共生社会への意識を醸成する。
- 教育総合支援センターにおいて、不登校支援、外国人児童生徒支援、特別支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに合った支援を充実する。
- 不登校やいじめ、暴力行為など生徒指導上の諸課題に対しては、保護者や地域住民とも連携しながら全校体制による組織的な対応に努め、適切な指導や援助を行う。
- 学校図書館の機能を充実し、児童生徒の読書意欲を高め、豊かな感性の基盤をはぐくむ。

主な事業	予算額（千円）
学校司書配置事業費	50,712
教材教具費[図書購入費]	23,482
教育総合支援事業費【再掲】	27,228
いじめ・不登校対策事業費（心の教室相談員の配置）	972

④ 特別支援教育の推進

- コーディネーターが中心となり、校内委員会を円滑に進めるとともに、児童生徒の実態を的確に把握し、ICTを活用した「合理的配慮」を行うなど一人ひとりのニーズに応じた指導・支援に努める。
- 特別支援学校及び専門機関との情報交換や校内外の研修会等を通して、教師の専門性を高める。
- 教育総合支援センターにおいて、来所相談や学びの場相談会、関係機

関と連携し、子ども一人ひとりのニーズに合った支援の充実を図る。

- きずな子ども発達支援センター、こども家庭センター等の関係機関と連携し、情報を共有することで、子どもの望ましい発達支援に努める。
- 医療的ケアを必要とする児童生徒への対応のため、小・特別支援学校に看護師を配置し、必要な支援に努める。

主な事業	予算額（千円）
特別支援活動事業費（スタディ・メイトの配置）【再掲】	28,099
教育振興事業費（医療的ケアを行う看護師の学校への配置）	14,946
教育総合支援事業費【再掲】	27,228

⑤ 情報化、国際化に対応した教育の推進

- 児童生徒の情報活用能力をはぐくみ、より主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、ICT教育環境の整備を推進する。
- 安定的なICT教育環境を維持するため、一人一台学習専用端末の更新を行う（こまどり支援学校分）。
- 校務のクラウドストレージ及び統合型校務支援クラウドを円滑に運用し、教員の校務情報管理の効率化、セキュリティの強化を図る。
- 学校DXに関する教員研修を実施し、汎用的なソフトウェアや生成AIの適切な活用を促進させることで、教員の情報分野に関する指導力・情報活用能力の向上を図り、学習指導の充実に努める。
- 遠隔教育システムを活用し、海外の児童生徒との遠隔交流学习を取り入れるなど、多様な学習活動の工夫に努める。
- 教育総合支援センターにおいて、入国間もない外国人児童生徒を対象とした基礎的日本語や生活適応等の初期指導を行い、外国人児童生徒への就学を支援する。
- 小学校での外国語活動や外国語科の指導の充実、小学校から中学校への円滑な学びの接続を図る。また、総合的な学習の時間や学校行事を通して異文化に理解を深め、国際的な視野を広めるよう努める。
- ALTを増員して小学校に配置し、校内のいつでもどこでも英語に触れることのできる環境づくりに努め、英語活動や英語学習を工夫することでコミュニケーション力の育成を図る。

主な事業	予算額（千円）
地域イントラネット整備事業費（ICT支援員配置、校務のクラウドストレージ及び統合型校務支援クラウド運用、端末の保守等）	133,334
外国青年講師招致等事業費（ALTの配置）	67,031
英語等活動推進事業費（JTEの配置）	16,918

論理コミュニケーション推進事業費【再掲】	6,030
外国人児童生徒教育支援事業費（相談員配置、日本語指導教室）	10,335
小中一貫教育推進事業費（英語学習パートナーの配置）【再掲】	1,537
学習指導費（教師力向上や今日的な教育課題等の研修会の開催）【再掲】	551
教育総合支援事業費【再掲】	27,228

3 絆を深め、ふるさと高岡に愛着と誇りを育む地域ぐるみの学びの推進

① 学校、家庭、地域の連携による児童生徒の健全育成

- 学校と家庭、地域社会との連携を密にし、地域ぐるみで児童生徒の健全育成を推進する。
- 学校評議員制または学校運営協議会の活用と学校評価やアクションプランの公開により、家庭や地域と共にある学校づくりに努める。
- 「高岡市いじめ防止基本方針」に基づき、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、いじめの防止等の対策に取り組む。
- 「高岡市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の交通安全を確保するとともに、家庭・地域や学校安全パトロール隊等と連携を図り、児童生徒の登下校時の安全確保に努める。

主な事業	予算額（千円）
青少年悩みごと相談事業費（少年なんでも相談所の設置）	9,896
いじめ・不登校対策事業費（心の教室相談員の配置）【再掲】	972

② 家庭や地域の教育力の向上

- 各種団体等と連携し、地域における教育活動の推進役を担う次世代リーダー、サポーターの養成に努める。
- 学校・家庭・地域と連携し、青少年の文化活動やスポーツ活動等の体験活動の機会充実に努める。
- 「高岡の歴史文化に親しむ日」などでの実践を通して、優れた伝統文化にふれる機会の提供に努める。
- 地域における有害環境の改善や、迷惑行為の防止などの取組みを支援するとともに、児童生徒の問題行動等に対応するための教育相談体制の充実に努め、育成環境づくりを推進する。
- 子育て中の親学びを中心とした家庭教育支援をはじめ、青少年、成人への生涯学習支援の推進に努める。
- 図書館やボランティア団体等と連携し、家庭・地域における子どもの

読書活動の推進に努める。

- 地域の施設や人材を活用し、放課後子ども教室や土曜学習を推進する。

主な事業	予算額（千円）
子ども元気活動支援推進事業費（放課後子ども教室・土曜学習の実施）	3,293
社会教育関係団体支援事業費（女性団体・少年団体・青少年育成団体等の活動への支援）	3,632
生涯学習事務費	3,780
ジュニア育成コミュニティ活動事業費（団体活動への支援）	1,000
ブックスタート事業費	910
孫とおでかけ支援事業費（世代間交流等を図るための施設観覧料の減免）	856
家庭教育支援事業費（家庭教育推進サポーターの配置）	342

③ ふるさと学習の推進

- 「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土の伝統工芸や産業、優れた技術をもつ人々に接し、ものづくりの素晴らしさを感じ取るとともに、郷土を愛し、未来に向けて心豊かな生活を創造していく能力を育てる。
- 「高岡の歴史文化に親しむ日」や「たかおか『解体新書』事業」の取り組みを通して、歴史の町並みや建造物に理解を深め、祭礼や年中行事に積極的に参加し、ふるさとのよさを実感するなど、「高岡」の歴史文化に誇りをもつ児童生徒の育成に努める。
- 郷土に関する副読本等を活用し、郷土の文化と伝統を大切にする心をはぐくむ指導を充実する。
- ふるさとの偉人の生き方を学び、自らも困難を乗り越え、社会に貢献したいと考える児童生徒の育成に努める。
- 市立図書館が収蔵している高岡の歴史資料を解説・調査・修復・デジタル化し活用を推進する。

主な事業	予算額（千円）
ものづくり・デザイン科推進事業費【再掲】	12,291
高峰譲吉博士顕彰事業費【再掲】	698
論理コミュニケーション推進事業費【再掲】	6,030
古文書調査事業費	2,481
小学校郷土学習費（副読本の配布）	945
小学校地域学習サポート事業費（地域人材の活用）【再掲】	378
ふるさと教育推進事業費（高岡の歴史文化に関する俳句等の募集・表彰）	100

4 共に生き共に創る、地域に活力を生み出す人生 100 年時代の学びの推進

① ふれあいと語らいの生まれる生涯学習の機会と場の提供

- 地域住民の学習意欲に応えるため、32 か所の地域交流センターと 4 か所の公民館を地域における生涯学習の拠点として位置づけ、住民ニーズに合わせた生涯学習事業を企画実施するとともに、地域人材の発掘、育成に努める。
- 地域の特色を生かした世代間交流事業などを奨励し、住民同士がふれあい、語らうことのできる地域づくりを推進する。

主な事業	予算額（千円）
区域内公民館連携推進事業費補助金（自治会公民館と市立公民館の連携）	4,560
地域生涯学習推進事業費（地区の学習活動への支援）	4,704
孫とおでかけ支援事業費【再掲】	856
公民館フェスタ実行委員会補助金【社会教育関係団体支援事業費に含む】	320

② 地域に根ざした学習活動の育成

- 各種の社会教育団体等の活動を支援し、ふるさとの自然・歴史・文化に親しむ機会の充実を図る。
- 高岡にゆかりのある文学や高岡が舞台となっている物語、童話、民話、昔話、言い伝えなどの普及・活用を図り、ふるさとの歴史文化の継承に努める。
- 読書活動の普及・啓発の中核を担う市立図書館の活用について、幅広い観点から検討を進める。
- ICT環境の整備等、子どもたちを取り巻く読書環境の変化に応じるため、「高岡市子ども読書活動推進計画」の見直しを行い、子どもの読書活動の推進を図る。

主な事業	予算額（千円）
図書購入費	27,500
区域内公民館連携推進事業費補助金【再掲】	4,560
地域生涯学習推進事業費【再掲】	4,704
社会教育関係団体支援事業費【再掲】	3,632
生涯学習事務費【再掲】	3,780
孫とおでかけ支援事業費【再掲】	856

③ 生涯学習体制の充実

- 地域における生涯学習活動の充実を図るため、生涯学習支援員を32か所の地域交流センターに派遣する。
- あらゆる世代の生涯学習ニーズを的確に把握し、学習の機会と場を提供する。また、地域における教育活動の推進役を担う次世代リーダー、サポーターの養成を行うとともに、社会教育団体への支援を行い、活動の充実を図る。
- 生涯学習センターや地域交流センター、公民館などの施設で実施する学習講座について、ホームページ等を活用した情報発信の充実に努めるとともに、オンライン講座や研修など新たな手法による取り組みを推進する。
- 市民主体の地域活動や学習活動を促進するため、各地区の生涯学習推進協議会を中心とした地域に根ざした生涯学習活動の活性化を支援する。
- 生涯学習センターやふくおか総合文化センター、地域交流センターなどの生涯学習関連施設と公民館の連携を図り、生涯学習によるまちづくりを推進する。

主な事業	予算額（千円）
区域内公民館連携推進事業費補助金【再掲】	4,560
地域生涯学習推進事業費【再掲】	4,704
生涯学習センター講座開設事業費	1,185
公民館フェスタ実行委員会補助金【社会教育関係団体支援事業費に含む】【再掲】	320

④ 若者が主体となるまちづくりの推進

- 若者がイベントやまちづくり活動などの企画・運営に主体的に取り組めるよう機運の醸成に努める。

主な事業	予算額（千円）
リトルイング 賑わい創出事業費（ウイング・ウイング 高岡交流スペースでのイベント開催）	200

5 夢や希望を育み、健康を支えるライフステージに応じたスポーツの振興

① 生涯スポーツ活動の充実

- 「第2期高岡市スポーツ推進プラン」に基づき、市民が、年齢や体力、性別、障がい等を問わず、興味や関心、目的等により、それぞれのライフステージに応じてスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことができるよう施策を展開する。

- 公益財団法人高岡市スポーツ協会を中心に高岡市体育振興会や高岡市スポーツ推進委員、各種スポーツ関係団体と連携を図り、市民が主体的にスポーツに参加できる機会の充実に努める。
- 各種スポーツ関係団体の育成とスポーツ指導者の養成及び確保に努める。
- 市民のスポーツ活動への参加を促すため、イベント・行事予定等の積極的な情報提供に努める。
- 市民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、各学校の体育施設を有効活用し、学校体育施設開放事業を推進する。
- 公益財団法人高岡市スポーツ協会や各種スポーツ関係団体と連携・協力し、競技スポーツの育成強化と普及振興に努める。
- 県内に拠点を置くプロスポーツチームやトナミ運輸バドミントン部、伏木海陸運送硬式野球部などのプロスポーツ・社会人スポーツとの連携によるスポーツまちづくりを推進する。
- 市民のニーズを捉えた、市全体での適正なスポーツ施設のあり方を検討する。

主な事業	予算額（千円）
高岡市スポーツ協会補助事業費	91,361
高岡市スポーツ協会委託事業費（ジュニア選手育成強化事業等）	8,124
学校体育施設開放事業費	4,355
スポーツ推進委員事業費	3,305
たかおかアスリート支援事業費（激励金、トップアスリート及びネクストアスリートへの支援）	5,883
たかおかスポーツ推進事業費（運動あそびアドバイザー派遣・育成事業、プロスポーツによる地域活性化支援事業、全国大会等開催補助等）	5,355
体育団体活動支援事業費（団体活動への支援）	4,428
スポーツ大会・合宿等誘致促進事業費（呉西圏域での取組み）	123

② 民間活力を取り込んだスポーツ施設の運営や整備の推進

- 指定管理者において利用者である市民ニーズを把握し、それらに応じて施設を効率的・効果的に運営する。
- スポーツ施設の機能維持及び競技環境の確保を目的とした、計画的な修繕を行う。
- アーバンスポーツ施設を整備し、市民が日常的にスポーツに親しむ機会を創出するとともに、若者に選ばれる魅力あるまちづくりを推進する。

- 施設予約システムやスマートロックシステムを有効活用し、引き続き施設管理・運営の効率化に取り組む。

主な事業	予算額（千円）
体育施設管理委託事業費（指定管理者への委託）	195,413
体育施設改修等整備事業費 （うち、高岡市テニスコート人工芝張替事業） （うち、城光寺陸上競技場改修事業） （うち、3x3バスケットボールコート整備事業）	138,723 (110,550) (7,208) (20,965)
高岡西部総合公園管理運営費 （うち、ラバーフェンス張替修繕）	162,254 (79,200)
体育施設管理運営費	24,814

6 文化創造都市高岡の優れた歴史・文化の保存・活用とさらなる創造

① 歴史・文化資産を活かしたまちづくりの推進

- 「歴史文化基本構想」、「第2期歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）」及び「文化財保存活用地域計画」に基づいて、文化財を活かしたまちづくりを進める。
- 令和6年能登半島地震によって被害を受けた市内文化財の復旧を進める。
- 重要伝統的建造物群保存地区「山町筋」、「金屋町」、「吉久」の建造物の修理・修景をはじめ、保存活用計画に基づく環境整備を進める。
- 国宝「瑞龍寺」、「勝興寺」、重要文化財「菅野家住宅」、「武田家住宅」などの建造物の保存・活用を進める。
- 国史跡「高岡城跡」及び「加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）」は、計画に基づく整備に努めるとともに、史跡の本質的価値の向上を図る。
- 重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の保存・修理を計画的に進める方針を保存会と連携し策定に着手する。
- 市民に本市の歴史、文化財の魅力に興味を持ってもらう機会の充実を図る。

主な事業	予算額（千円）
旧高岡共立銀行保存整備事業費	250,361
重要伝統的建造物群保存地区整備事業費（災害復旧事業）	8,013
史跡災害復旧事業費	42,250

重要伝統的建造物群保存地区整備事業費（修理・修景補助）	15,704
文化財管理事業費（武田家住宅等の管理、文化財の魅力発信事業等）	34,304
瑞龍寺保存整備事業費（国宝・重要文化財建造物耐震診断事業補助）	4,189
高岡城跡保存整備事業費	1,791
まちなか歴史資産魅力向上事業費 （たかおか「解体新書」事業ほか歴史文化資産の広報等）	3,058

② 文化財の調査・研究・活用の推進

- 産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業に関する覚書に基づき、地域資料の把握調査やデジタル化に取り組み、地域資料の保存・継承を進める。
- 開発事業によって消滅のおそれのある遺跡について発掘調査を実施し、記録保存するとともに、調査成果について研究を進める。また、現地説明会や遺物展示会などを通して、情報提供に努める。
- 埋蔵文化財センターの企画展や出張イベントの開催などにより、埋蔵文化財の広報・普及事業を実施する。

主な事業	予算額（千円）
まちなか歴史資産魅力向上事業費（地域資料継承支援事業）	1,000
遺跡発掘調査事業費	16,635
埋蔵文化財室管理事業費（埋蔵文化財センターの管理運営）	8,336